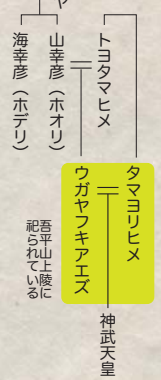
鹿屋探訪 No.100

吾平山上陵と神話

吾平山上陵はアイラヤマノウエノミササギが正式名称です。ミササギは天皇などのお墓を意味しています。では誰のお墓でしょう。そうご存知「ウガヤフキアエズ」とその妻「タマヨリヒメ」の魂の眠る場所とされています。さてここで、ウガヤフキアエズ、タマヨリヒメの登場する神話をご紹介したいと思います。ここで取り上げる神話は、編纂されて1300年ほどたった古事記という日本最古の歴史書に記述されているもので、俗に日向神話などとも呼ばれたりすることもある部分です。それでは、神代の時代を覗いてみましょう。

ウガヤフキアエズの息子は後の「神武天皇」ですが、お父さんは「山幸彦」です。山幸彦は、天からヒムカの高千穂の峰に降り立った神様、「ニニギ」の息子なので、ウガヤフキアエズはニニギの孫にあたります。山幸彦には海幸彦というお兄さんがいて、それぞれに狩りと釣りという得意分野があったのですが、兄の得意分野を体験したくなったのか、道具を交換します。結果、釣りもうまく行かず、山幸彦は兄の大切な釣り針を無くしてしまい、兄は激怒します。1000個の釣り針を用意しても許してもらえず、海のそばでたたずんでいたところを、海の神様に声をかけられ、海底の御殿に向かいました。その宮殿で出会ったのが「トヨタマヒメ」です。二人は恋に落ち、3年間幸せに暮らしました。暮らしている間に釣り針も見つかったのですが、海の神様からいろいろな知恵を授かって帰った山幸彦は、兄の海幸彦を家来にしてしまいます。さらに海からトヨタマヒメが出産のために上陸してきたとき、覗くなといわれた部屋を覗くと、そこには「サメ」がいました。本来の姿を見られた恥ずかしさから「トヨタマヒメ」は子どもを残して海に帰ってしまいました。それがウガヤフキアエズです。彼は後にトヨタマヒメの妹で、おばにあたる「タマヨリヒメ」と結婚し、神武天皇を含む4人の兄弟が生まれたとのことです。

【問い合わせ】
市文化財センター
☎0994-31-1167



神話の神 略図
都合上省略した神の名があります

鹿屋市の概要

平成26年8月1日現在　（前月比）

●人　口	103,875人	(+12)
男　性	49,175人	(－ 8)
女　性	54,700人	(+20)
●世帯数	45,499世帯	(－ 4)

市の花「ばら」

ミルキーウェイ

白色からクリーム、アプリコットピンクへと咲き進むにつれて、花色が変わるかわいいミニバラ。

生命力が高く、病気になりにくいので初心者向きのバラです。

東側エリア内

鹿屋市ラジオ広報番組

かのや市政 インフォメーション

市では、イベント情報、市の施策等を紹介するラジオ広報番組を放送しています。

また、大雨や台風襲来時には、防災情報を市民の皆さんにお伝えしています。

●放 送 局＝ＦＭかのや（77.2MHz）
●放送時間＝概ね８時５分～概ね16時５分～
●放 送 日＝毎週月曜日から金曜日（祝日を除く）